

令和2年度「情報通信月間」総務大臣表彰

別紙2

1 個人：5件

(敬称略)

氏名	功績の概要
<p><small>かわしま ひろいち</small> 川島 宏一</p> <p>筑波大学 システム情報系 教授 (社会工学)</p>	<p>地域情報化アドバイザーとして、全国の地方公共団体におけるオープンデータの推進に尽力するとともに、各地で活躍する地域情報化アドバイザーを総括するリーダーとして、我が国の地域情報化の推進に多大な貢献をした。</p>
<p><small>てづか さとる</small> 手塚 悟</p> <p>慶應義塾大学 環境情報学部 教授</p>	<p>個人情報保護委員会委員として、マイナンバー制度について、システム構築等の観点から特定個人情報保護に寄与するとともに、暗号技術の安全性確保に尽力したほか、電子認証基盤に関する制度設計・トラストサービスの普及や制度検討に多大な貢献をした。</p>
<p><small>なかやま たかお</small> 中山 隆夫</p> <p>弁護士</p>	<p>電気通信紛争処理委員会委員長として識見をいかした委員会運営により、電気通信事業者間・放送事業者間の紛争を公正かつ円滑に解決するとともに、総務大臣からの諮問事案に対する審議・答申を指揮するなど、電気通信分野における公正競争の確保に尽力し、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p>
<p><small>にしお しょうじろう</small> 西尾 章 治郎</p> <p>大阪大学 総長</p>	<p>デジタル変革時代の ICT グローバル戦略懇談会座長として、G20 の茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合閣僚声明及び大阪サミット首脳宣言に反映された報告書の取りまとめに尽力し、デジタル経済の発展の礎となる国際的な協力関係の強化に多大な貢献をした。</p>
<p><small>もり りょうじ</small> 森 亮二</p> <p>弁護士</p>	<p>情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会やプラットフォームサービスに関する研究会の構成員を務めるとともに、日本IT団体連盟認定委員会委員長として情報銀行の認定を行う等通信サービスの利用者情報の適切な取扱いの確保に多大な貢献をした。</p>

2 団体：6件

(敬称略)

団体名	功績の概要
<p>株式会社 あわえ</p> <p>(代表取締役：吉田 基晴)</p>	<p>全国の自治体と連携し、サテライトオフィスの誘致を支援するとともに、誘致企業・移住者・地域住民との協働を通じ、ICT 活用による減災等地域課題の解決を推進することで Society5.0 時代の持続可能な地域社会モデルの構築に多大な貢献をした。</p>
<p>一般社団法人 キャッシュレス推進協議会</p> <p>(会長：鵜浦 博夫)</p>	<p>コード決済に関する統一技術仕様ガイドラインを策定・公表し、総務省統一QR「JPQR」普及事業に一体となって取り組むなど、我が国のキャッシュレス化やモバイル決済の推進に多大な貢献をした。</p>

<p>グローバルコミュニケーション 開発推進協議会</p> <p>(会長：須藤 修)</p>	<p>総務省のグローバルコミュニケーション計画を産学官連携で推進する体制を構築し、多言語音声翻訳技術の向上と、同技術を活用した製品やサービスの2020年に先立つ実用化に多大な貢献をした。</p>
<p>佐賀県</p> <p>(知事：山口 祥義)</p>	<p>全国に先駆けてテレワークの導入に取り組むとともに、県内全市町でのサイバー防御や、青少年のインターネットの安心安全な利用を積極的に推進するなど、地域での情報通信の利活用に多大な貢献をした。</p>
<p>G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣 会合推進協議会</p> <p>(会長(茨城県知事)：大井川 和彦)</p> <p>(副会長(つくば市長)：五十嵐 立 青)</p>	<p>令和元年6月8日及び9日に開催された、「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」において、各国代表のおもてなしをするとともに、県民・市民も参加した機運醸成に向けた様々な取組を実施するなど会合運営を支援し、同会合の成功に多大な貢献をした。</p>
<p>公益社団法人 全国消費生活相談員協会</p> <p>(理事長：増田 悦子)</p>	<p>総務省設置の「消費者保護ルールの検証に関するWG」等の会合に参画し、消費者の観点から報告書等の取りまとめや制度整備に協力するとともに、消費者からの電話相談等を通じて電気通信サービスの安心・安全な利用環境の推進に多大な貢献をした。</p>